

3. 官庁訪問を知ろう！

何を聞かれるの？

雰囲気は？



第3部．官庁訪問を知ろう！

第3部では、実際に経験しなければなかなか掴めない官庁訪問の実態をお伝えします。前半では、環境省の官庁訪問に関する基本的な情報、後半では、春季と夏季の官庁訪問参加者に分かれて行った座談会についてまとめています。

なお、掲載している情報はあくまで令和3年度官庁訪問における経験に基づき、内定者の視点から作成されたものであり、**来年度以降の官庁訪問のシステムや内容と異なる可能性があります。**

■ 官庁訪問の基本情報

令和3年度官庁訪問は、例年通り春季と夏季の2度実施されました。**環境省ではすべてオンラインでの実施となりました。**春季は理工系区分の既合格者を対象として6月上旬に全3クール、夏季は国家総合職試験最終合格者発表後の6月下旬～7月上旬に全5クールで実施されました。**最新の詳しい官庁訪問の日程、ルール等は、人事院のWebサイトでしっかり確認しましょう。**

以下、官庁訪問の流れ、面接、服装、基本データについてまとめます。

■ 官庁訪問（総合職）の流れ

①官庁訪問予約

環境省Webサイトから官庁訪問申込票等をダウンロード、記入し、提出期限までにメールで送ります。

②官庁訪問初日

オンライン環境を整え、メールの指示に従いルームに参加します。初日からしっかり面接を行うので、気持ちの準備をしていきましょう。

③官庁訪問期間中

メールの指示に従い、オンライン面接を1日に数回行います。面接だけでなくグループディスカッションが行われる場合もあります。日によって形式は異なるので、臨機応変に対応しましょう。

④官庁訪問最終日（最終クール）

内々定！

■ 官庁訪問（総合職）の面接

概要

面接は、人によって異なりますが、1回30分から1時間程度で、複数回行われます。最初は1対1の面接がほとんどですが、クールが進むと1対3人程度の面接も行われます。面接では、官庁訪問申込票を基に質問をされたり、自己PRを求められたりします。加えて、説明会では聞けないような具体的な業務内容を聞いたり、政策について議論したりすることによって、しっかりと環境省の業務内容を理解することができます。

待ち時間

毎回、面接終了後から次の面接に呼ばれるまで時間がかかりますので、その間に面接を振り返ったり、ノートや申込票を見返したりして、次の面接に備えることができます。

終了時刻

官庁訪問終了時刻は官庁によって異なりますが、環境省は比較的早い時間に終了します。しっかりと休んで、翌日以降の面接に備えましょう！

■ 官庁訪問（総合職）の服装

官庁訪問はクールビズ期間中に実施されることが多く、軽装が推奨されています。そのため、志望者も半袖シャツを着たり、ネクタイを外したりした状態で面接を受けることが可能です！



■ 官庁訪問（総合職）基本データ

■ 官庁訪問時期

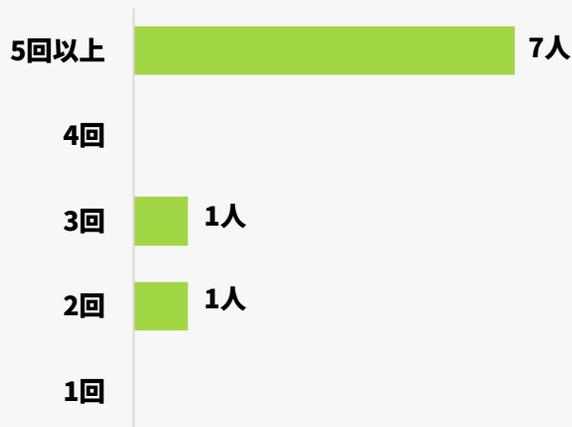
令和4年度入省内定者



官庁訪問は、例年通り春季と夏季の2度実施されました。

■ 説明会参加回数

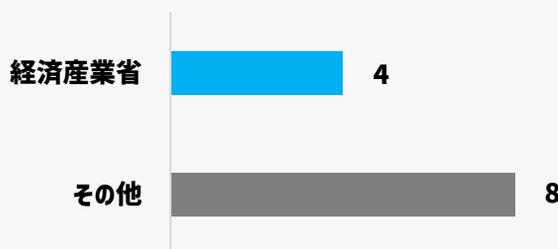
令和4年度入省内定者



9人中全員が、説明会に1度は参加していました！

■ 併願した官庁

令和4年度入省内定者

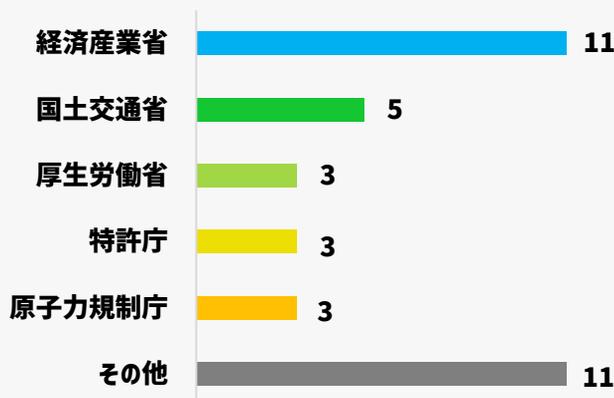


※その他内訳：農林水産省/国土交通省/海上保安庁/国税庁/警察庁/気象庁/科学警察研究所/原子力規制庁 各1

※9人のうち1人は併願官庁なし。

※複数官庁の併願を含む。

過去5年間の内定者
(平成30年～令和4年)



※その他：文部科学省/農林水産省/科学警察研究所 など

※複数官庁の併願を含む。

■ 主な併願進路

コンサル(環境系など)/環境試料分析/廃棄物処理事業者/シンクタンク/
ソーシャルビジネス/電力会社/独立行政法人(エネルギー系)/研究開発(地球科学) など

■ 官庁訪問参加者による座談会

令和3年度春季官庁訪問に参加した内定者と、夏季官庁訪問に参加した内定者で分かれて、それぞれ座談会を実施しました。発言の内容を要約し、編集を加えているため会話の流れが不自然な点があるかもしれませんが、予めご了承ください。また、会話の雰囲気をお伝えしたいと思い、デザインはトークアプリ風でお届けいたします！

■ 春季官庁訪問参加者による座談会

座談会メンバー



桃太郎 (25・男)

司会。岡山県在住。併願先：気象庁、海上保安庁



将棋 (25・男)

千葉県在住。併願先：経済産業省



ぱんだ (25・女)

京都府在住。併願先：なし



尺八 (23・男)

東京都在住。併願先：原子力規制庁



みみみ (23・男)

愛知県在住。併願先：経済産業省



Go to the next page...





青色の吹き出しは司会の質問です！

官庁訪問に向けて対策していたことは？



桃太郎

白書を買って読んでいて、自分の関心のあることについて考えを言えるようにしていた。説明会でよく発言していたから職員の方に名前を覚えて、官庁訪問でも知ってる面接官の方が多くてやりやすかった。



ぱんだ

環境省ではなかったけど、他の省庁の対面イベントで連絡先を交換して、2ヶ月前から週1で政策のディスカッションをやっていた。その省庁のことだけでなく、行政全体の仕組みの勉強にもなったし、知り合いができたことで官庁訪問にも立ち向かえた。



みみみ

僕は研究室のメンバーとの雑談で政策について話した。自分以外の人意見を聞いて、政策に対する考え方を学べたと思う。



尺八

こども環境白書を読んで環境省の取り組みの全体像を把握した。面接については、訪問カードへの想定質問は考えてたけど、あとは臨機応変に対応しようと思った。



将棋

僕は説明会で気になったことを自分なりに深掘りして、官庁訪問で話せるようにした。



桃太郎

環境省の説明会では政策の知識を学べたけど、職員との個人レベルでのディスカッションができる、少人数の座談会をもっとやって欲しかった。他の省庁では頻繁にやってて、20回以上は参加した。



みみみ

官庁訪問は情報戦だし、説明会にいっぱい行くと職員の方に名前も覚えてもらえるよね。白書は難しいし分量も多いからあまり読んでなかった。こども白書は逆に深いところまでは知れないと思った。



尺八

重要なのは白書にある政策ができた過程や意味について主体的に考えることだと思う。全部に目を通すのはしんどくて、読んで意味あるのかな、と思うこともあった。



ぱんだ

僕は環境省のホームページで議事録とかプレゼン資料を探して政策の勉強した。



尺八

私も議事録は読んだ。政策の調整で立場の異なる人たちのパチパチのやりとりが見られた。



ぱんだ

特に面接に向けての対策として、どんなことをした？



桃太郎

民間でも環境を軸に就活してたから、訪問票はその時書いたエントリーシートを参考に書いて書いた。



尺八

僕は民間の面接は受けてなくて、官庁訪問がぶっつけ本番だった。官庁訪問中は、面接で答えられなかった質問をメモして、次は答えられるようにした。



将棋



ぱんだ

1日目やしんどかったから、よく寝て体力が保つようにしてた。民間でも環境を軸に就活してたけど、なぜ国家公務員なのかを答えられるようにしていた。そもそもなぜ環境に関わる仕事をしたいと思ったのか、までしっかりと深掘りしていたから、志望動機はスラスラ言えた。



みみみ

訪問カードには僕の場合だと、再生可能エネルギーを社会に実装したい→洋上風力発電等を増やしたい→どう調整するか、みたいにかなり具体的に書いてた。面接で聞かれて答えられたらアピールになるし、聞かれなくても志望動機とかで具体的なことを言えるのは重要だと思う。



尺八

僕も訪問カードには書かなかったけど、自分だったら具体的にどんな政策を打ち出すのかを言えるようにしてた。



将棋

訪問カードは自分の価値観や経験を仕事にどう活かすのか、自分だから書けることを意識して書いた。自分は特別な人間なんです、とアピールしようと思ってた。



尺八

環境省の職員を訪問した時に訪問カードを添削してもらった。ただ、官庁訪問でその添削してくれた方との面接があって、その時はハードルを上げられたけど（笑）。



官庁訪問で他に思い出に残ってることってある？



ぱんだ

最終面接で2050年はどんな社会になっているか、と質問された時、環境問題以外のことも絡めて聞かれて、ちゃんと答えられなかった。その時は正直落ちたと思った。



尺八

僕も同じこと聞かれて、うまく答えられなくて後悔してる。ただ、環境問題という視点だけでなく、他の社会問題も絡めて話すことは意識した。



僕は興味のある環境問題について延々と深掘りされた。最後には頭がパンクして答えられなくなったのはいい？思い出（笑）。



ぱんだ

私も同じように興味のある分野を深掘りされた。自分なりにどう考えているか、具体的に環境省の立場でどうするかを言えるのは大事だと思う。逆に、質問はされずにずっと逆質問しなきゃいけない面接もあって、そっちの方が困った。



みみみ

逆質問は事前にリスト作っておいた。単に質問するだけじゃなくて、自分の意見を言ってそれについてどう思いますか、という聞き方をして、よく考えているという姿勢をアピールしてた。



僕は面接官が取り組んでる業務についての逆質問しかなかった。それで話してもらったことについてひたすら深掘りして質問してた。



みみみ

官庁訪問で一番大事なことの話になるけど、たしかに、大事なのは知識量や考え方のアピールよりも、目をきらきらさせて話すことだと思った。面接官の方は政策のプロで、いくらでもこちらの粗を見つけられるし。



将棋

話す姿勢もだし、見た目の印象も大事だと思う。僕は実際にカメラに向かって話してみて、どんな雰囲気映ってるのかチェックしてた。

オンライン面接で良かった点、悪かった点は？

訪問カードとか逆質問リストを置いておけるのが良かった、安心材料になった。

良い点は、会場に行かなくて良いから金銭面や体力面で楽、という点に尽きると思う。悪い点は、対面の面接独特の緊張感がなくて、気が引き締まらなかったこと。人生がかかっているし、もっと集中したかった。

他の就活生と知り合う機会が全くなかったのが残念だった。オンラインでも待合室はあったけど、話せるような雰囲気じゃなかった。

官庁訪問中に一回も環境省に足を運ぶことなく内々定をもらったから、みんなと喜びを分かち合うことができなくて寂しかったなあ。

環境省の官庁訪問で見られていた、評価されたと感じたことはある？

自分の回答に対して、「いい話が聞けました」って言ってもらえたことがあった。人とどうコミュニケーションをとるのかとか、人柄も評価されてるのになって思った。

全然喋れなかったこととか、聞かれたことをしっかり復習して、次にはしっかり話せるように対策を立てておくっていうのを意識してて、それは好印象だったと思う。

難しい質問されたときに少し時間を使って頑張って答えたら、ちゃんと具体的に答えようとしていたところよかったって評価をもらった。

具体的な数字を使うのは大事だと思う。研究テーマを生かすとその事業の予算がどれくらい削れるかって質問があって、必要な時間とか時間を具体的に数字を使って回答したら、好感触だった。あと、官庁訪問中に成長を見せることが大事だと思って、逆質問のときに話し方についてのフィードバックをもらって改善するようにした。

成長を見せるのは僕も大事だと思う。面接のフィードバックはみんなもらってたの？

私も自分の話し方について聞いたよ。ちょっと自信がなさそうに見えるって言われた。

逆に、失敗したと感じたことはある？

国会対応とか予算要求みたいな地味な仕事はやりたくないって言ったのはよくなかった。政策の予算とかもひっくめて行政という仕事によって面接官の方に言われて、ちょっと自分の理解が甘かったなって思った。

自分の強みを3つ答えてくださいって言われて、ちゃんと答えられなかった。そういう民間就活みたいなことも聞かれるんだなって。準備が足りなくて反省した。



みみみ

太陽光発電パネルが適正な廃棄処分をされずに放置される問題にどう対処するかって聞かれて、補助金を出さって答えたんだけど、「とりあえず補助金」はダメだよ、みたいな指摘をされた。理由も聞けて環境省の官僚になる人ってすごいと思って尊敬したし、志望度が上がったエピソードでもあるけどね。



尺八

質問の回答に対して結構突っ込まれて、もっと落ち着いて論理的に話したらよかったかなって思った。廃プラスチック問題に対して、例えばコンビニでレジ袋を受け取らなかつたら何かポイントがつくようにしたらいいって話したら、元々コンビニ利用してないお客さんからすると不公平かもしれない、と言われて返事に詰まった。



桃太郎

環境省の官庁訪問全体の印象はどうだった？



桃太郎

僕は、民間で受けた面接では面接官の方の反応が薄くて困ったことが多かったんだけど、環境省は話を聞いてどう思ったかを率直に伝えてくれてありがたいと思った。



みみみ

僕は他省庁も受けてたんだけど、環境省の方が雰囲気すごく穏やかだった。他の省庁だと志望動機について厳しいことを言われたりしたけど、環境省はこっちの話をしっかり聞いてくれて、対話を通してお互いを知ろうとする感じがした。1人1人を見てくれているような雰囲気があっていいなと思った。



尺八

たしかに、一緒にディスカッションしてくれるっていう印象が強かった。



みみみ

面接というよりは、ディスカッションの場だと思って臨んだ方がいいかもしれない。最初は普通の面接みたいに自分の強みとか聞かれるけど、聞かれるターンが終わったら色々ディスカッションできる時間があるし、そこでアピールをしていくイメージを持っていった方がいいのかなって思う。



桃太郎

最後に、来年の志望者に向けて一言お願いします！



桃太郎

僕は、官庁訪問にはお堅いイメージがあって、すごく緊張して臨んだけど、意外と環境省は他の民間企業の面接よりも緊張しなかったです。自分が率直に考えたことを話せばしっかりと聞いてもらえるので、あまり気負わずにトライしてみてください！



ぱんだ

環境省の官庁訪問を受けようとしてる人には、多少なりとも環境問題に対する想いがあると思います。私だったら「綺麗な空が続けばいい」という想いがあるんだけど、自分の環境に対する正直な想いを受け止めてくれる場所の一つが環境省だと思うので、ぜひ官庁訪問でぶつけてきてほしいです！



尺八

官庁訪問じゃなくて就活全般の話になるんですけど、大変だとは思んですけど、自分のやりたいこととか人生設計とかを見直すいい機会だと思います。だから、就活っていうイベントを好機と捉えて、ぜひ自分の今後の人生にプラスになるように、悔いのないように、自分の軸をしっかり持って進んでいただきたいです！



将棋

緊張はすると思うけど、環境省の方は楽しくお話ししてくれて、柔らかく対応してくれると思います。自分の全力を出し切れずに終わってしまうのはすごくもったいないと思うので、自分のキャラクターとか個性をしっかり発揮できるように、自分をさらけ出していきいと思います！



みみみ

みんなと逆の意見になるかもだけど、よく官庁訪問って大変だけど楽しいよ、とか自分をうまく出せばうまくいく、みたいなことが言われてるけど、半分本当で半分嘘だと思ってます。もちろん自分もそれなりに楽しかったんですけど、こういう意見は受かった人のバイアスがかかっていると思うんです。他の省庁の官庁訪問では、落ちたこともあって何も楽しくなかったし、結局本気でやらないと受かりません。本番までは準備をとにかく一生懸命頑張ることが大前提で、一番最後は本番で楽しめばいいってことを伝えたいです！

■ 夏季官庁訪問参加者による座談会

座談会メンバー



桃太郎 (25・男)

司会。春季官庁訪問に参加。



うめ (23・女)

東京都在住。併願先：国税庁、科学警察研究所



みん (23・男)

宮城県在住。併願先：経済産業省、国土交通省



くろかん (25・男)

北海道在住。併願先：経済産業省

※夏季官庁訪問参加者は4名でしたが、1名都合がつかなかったため、司会者+夏季官庁訪問参加者3名での座談会となりました。



Go to the next page...





青色の吹き出しは司会の質問です！

官庁訪問に向けて対策していたことは？

志望省庁の説明会には10回以上は参加した。省庁に関する知識を得たり、考え方を知るの重要だと思う。

環境省の説明会は、座談会に2、3回行った程度だった。当時は環境省より志望度が高かった省庁があって、その個別説明会で職員の方と業務について1対1で話すのは、5、6回はやった。複数の省庁の説明会に行くと、考え方の違いがわかって、それぞれの省庁への理解が深まったと思う。

説明会で業務や考え方の理解以外に得られたものってある？

省庁ごとの雰囲気を知ることができた。環境省は和やかな雰囲気だったけど、パッションをすごく感じる省庁とか、厳格な雰囲気の省庁もあって、違いを感じた。

説明会といっても、若手職員との座談会とかグループワークとか色々あって、省庁の業務内容だけでなく雰囲気も知ることができる機会は多いよね。私は説明会に参加した時は必ず1回は質問するようにしてた。

実際のところ、毎回質問できたの？

最初は頑張ってたけど、最後の方は聞いたことある話しかなかった時はいいかな、と思って諦めてた（笑）。初めて参加した説明会はOB訪問だったけど、その時は環境省のことをほとんど知らなくて、質問できなかった。最初は初めての方向けの説明会に参加するといいかも。

面接を意識した対策はした？

白書を読んで、1つのテーマについてスライドにまとめて、人に話すことで自分の理解を深めてた。いつ聞いてもらうかを約束しておけば、「やらなきゃいけない」とも思えた。あとは、環境問題は今ホットだから、新聞で気になる記事も読んでた。

僕も新聞は2年前から読むようにしてて、環境のニュースとか世界の動きをチェックしてる。僕は入省したら自分が課題に感じていることを自分ならどう解決するかを話せるように意識してた。興味のある環境問題に対して国はどのような対策をしているのかを踏まえて、自分ならどう対策するかを考えてた。

たしかに、官庁訪問の面接は単に質問されるだけじゃなくて、意見を求められてディスカッションすることもあるから、自分なりの考えを持っておくのは重要だと思う。

僕はあまり勉強みたいなことはしていなかった。ただ、大学に面接の講師と国家公務員を受ける仲間がいて、週に2、3回面接の練習してた。志望動機とかやりたいことを人にわかりやすく伝えるトレーニングをした。

実際に環境省の官庁訪問を経験して感じたことは？



桃太郎

説明会にかなり参加していたから、ギャップとかはなかった。イメージ通りだと思った。



うめ

他の省庁との違いを感じた。ある省庁の面接ではロジカルな答えを問い詰められたけど、環境省の面接は形式ばってなくて、和やかな雰囲気でも話せた。説明会の時もそうだったけど、官庁訪問でもそのまま驚いた。



みん

趣味について結構聞かれたのが印象に残ってる。自分の好きなことを話せるのはやっぱり嬉しかった。



くろかん

私はヴァイオリンと登山が趣味なんだけど、趣味がコントラバスと登山の面接官の方がいて、すごく盛り上がった（笑）。その面接では、興味のある環境問題についてディスカッションして、あまりいい答えが言えなかったけど、その後に趣味の話ができて心が和らいた。



うめ

逆に、職員の方が話したくなる鋭い質問ができるのも重要だと思う。



みん

面接の通知メールに面接官の方の名前と部署が書いてあるから、ネットで検索して業務に関する質問を用意した。特に、説明会でみた事ある人が面接官だったときは、さらに質問が楽だった。



うめ

環境省のオンライン面接で良かった点、悪かった点は？



桃太郎

オンラインで良かった点はいっぱいあるけど、面接の待ち時間はくつろげるのが最大のメリットだと思った。悪い点は、ネット回線が不安定になって声が聞き取れなかったり、他の音が入っちゃうことがあることかな。



うめ

僕もチョコを食べたりしてリラックスはできた。メモを近くに置けたのも良かった。悪い点は、対面の面接があったところと比較して、他の志望者と話す機会がなかったこと。情報交換したり、リラックスしたりできなかったのが残念。



みん

第4、第5クールは対面が良かったかも。ここまで来れば多分大丈夫かなと思えるから、最後に内々定められた時にみんなで喜び合えるし。



くろかん

やっぱり横のつながりができなかったのが一番残念かな。民間でも他省庁でも最終面接は対面だったところが多いみたいだし。ただ、全部オンラインで実施できるというのは環境省の良いところだとも思う。



みん

あと、面接が終わった直後にメモがしっかり取れるのはいいところだった。面接の最中でもメモを取ることがあった。



うめ

僕は面接の最中でもがつつりメモとってた。もし気になるなら、メモをとっていいか聞くといいかも。



みん

官庁訪問で困ったり、焦ったりしたことはある？



桃太郎

1時間くらいディスカッションした面接はすごく疲れた。困る質問をされたわけじゃないけど、面接官の方がすごく熱心に話してくれたから、それに応えようと思って頑張った。困った質問は、私は医療系なのになぜ厚生労働省にしないのか何回も聞かれたことかな。



うめ

第4クールで遅刻したこと（笑）。疲労がピークで始まる前に仮眠をとったら寝過ぎて、めちゃくちゃ焦った。それでも内々定はもらえたけど、最後まで気を抜かないようにしなきゃと思った。



みんな

あと、基本的には想定内の質問が多かったけど、「環境省にとってのお客さんは誰？」と聞かれた時は分からなくて焦った。正解はないんだろうけど、現在と将来の世代のために貢献していくこと、と言われて納得した。



みんな

想いが溢れすぎて落ち着きがないとアドバイスされた（笑）。緊張もあって早口になっていたかも。ただ、熱い人は嫌いじゃないよ、とも言われたから、話すのが上手くなくても想いを伝えるのが重要だと思った。



くらかん

あと、第3クールは午前中に5分程度の面接1回、午後にも1回で面接が全部終わった時は焦った。



うめ

少ないね（笑）。僕は全クール少なくとも5回は面接したよ。



みんな

僕も全クール5、6回くらい。



くらかん

第1クールは5回、第2クールは7回だけど、第3クールはその2回だけだった。面接の回数は気にしなくていいのかも。



うめ

自分が評価されたと思うポイントは？



桃太郎

環境問題について学生団体で取り組んだこと、卒業研究が環境問題に直結してること、雪が少なくなって経営が厳しくなってるスキー場があることをスキーをやって知って、温暖化に関心を持ったこと、といった実体験や行動実績が十分にあって、そこが評価されたと思う。自然が好きというのもマッチしていた。



みんな

医療系なのに厚生労働省じゃなくてなぜ環境省なの？という困る質問でも、しっかり答えられたのが良かったと思う。環境省の将来ビジョンに合うような答えを自分の想いと言葉で伝えたら、面接官の方は納得してくれたみたいだった。



うめ

環境省のことで知らないことは多かったけど、官庁訪問を通じて職員の方から新たな知見が得られて、それを楽しんでるのが画面越しでも伝わったのが良かったと思う。官庁訪問は成長を見せる場だと思った。



くらかん

たしかに、話をちゃんと聞いてる姿勢を示したり、聞いて理解したことを質問、意見に反映させたのも評価につながってたかも。実際、複数の職員の方に話しがいがあると言われて。



うめ

最後に、来年の志望者に向けて一言お願いします！



桃太郎



うめ

官庁訪問では、環境省に対する愛をどれだけ伝えられるかが大事だと思います。環境問題にどう取り組みたいか、何を達成したいか、という想いを伝えたいという気持ちで臨めば、職員の方々はみんなしっかりと話を聞いてくれるので、うまくいくと思います！



くるかん

官庁訪問でも民間の就活でも、自分のありのままの姿勢や考えを伝えるのが大事だと思います。変に取り繕うのではなく、自分の素を出して行ってください！



みんな

官庁訪問は粗相があっても落ち着けば意外となんとかなります（笑）。官庁訪問を楽しんでください！

3.官庁訪問を知ろう！ は以上です。

前半の「官庁訪問の基本情報」では、環境省の官庁訪問の流れや、面接の基本的な特徴、服装、説明会参加回数などのデータをお伝えしました。例年のスケジュール、面接の形式や内容などを参考にして、来年度以降の官庁訪問に臨んでいただければと思います。

後半は、内定者の官庁訪問対策や訪問中の実体験について、座談会形式でお伝えしました。人によって対策方法や印象に残ったことは様々でしたが、実際に経験しなければわからない官庁訪問の実態を少しでも知っていただけたなら、幸いです。

志望者の皆様の官庁訪問が、実りあるものになることを祈っています！

おわりに

ここまで読んでいただきありがとうございます。いかがでしたでしょうか。

本書は構成から内容まで、すべて内定者が主体となって作成しております。その分、ひとりひとりのプロフィールや生の声に焦点を当て、就活生にとって身近な就活本になるよう努めました。私たちがどのように試験対策に取り組み、試行錯誤し、どのような考えをもって、環境省を目指したのか、皆さんが環境省を将来の選択肢として考える際に少しでも役立てていただけたらと思っております。

この「内定者の声」は次に環境省を目指す皆さんへ我々内定者からのバトンです。私たちとともに、環境問題の最前線に立って日本、そして世界の未来を作っていきませんか？ 内定者一同、皆さんをお待ちしています！

2021年12月 環境省総合職理工系内定者一同

